

第10回日本の次世代リーダー養成塾に参加して

参加した高校生の皆さんとその保護者の方々の感想をご紹介します。

◇卒塾生の感想文

在学学校名	私立鶯谷高等学校	2年	氏名	青木 志織
-------	----------	----	----	-------

1 リーダー養成塾を受講して

友達ができるか、ついていけるか。13泊14日。行く前の私の心情が、今は嘘のようです。今年のハイスクール国会は、今までになく難しい議題である、憲法についてでした。事前課題も国会も、難しさを感じました。しかし、本当に白熱した議論はとても面白く、今思い出しても、まだ続きをやりたいと思うほどです。

各界のスペシャリストである講師の先生方のお話は、これから自分の夢を追っていかこうとする私への、追い風になったように感じます。

仕事に対する真剣さ、夢を叶えようとする意志の強さなどを私も見習って、自らの力に変えたいと思いました。

このリーダー塾を受講して、まだまだ知らないことだらけで、自分の考えていた世界はとても狭かったことを痛感しました。しかし、多くの知識を得て、様々な考え方を知り、より視野が広がりました。

リーダー塾を受講できたことは、本当に嬉しく思います。

2 印象に残った講義とその理由

私の中で強く印象に残っている講義は3つあります。

1つ目は、石倉洋子先生の講義です。“キャリア”とは。熱く、力強く語る姿は、今でも思い起こされます。「その気になれば、何でもできる。」そうお話しされた先生のような、カッコいい女性になりたいと思いました。

2つ目は、中村俊郎先生の講義です。義足を作り、人に届ける。その過程には、困難もあるけど、その分感動もある。そんな、人の温かさを感じられた講義でした。

3つ目は、榊原英資先生の講義です。“学ぶのはなぜか。”面白く、説得力のあるお話でした。英語の勉強そして読書。この2つをもっとやろう。と思いました。

3 今後のわたし

私は将来、医師になりたいという夢と、舞台や映画製作を裏から支える職に就きたいという夢の2つあります。リーダー塾に参加する前は、こんなにかげ離れた職種で、一体何がしたいのか、どう選択していかうか、悩んでいました。

しかし参加してみて、どちらの職にも共通してあるのは、「人を笑顔にしたい」という願いであるということが分かりました。

今後どちらの職を目指すにしても、必要な基礎学力をしっかりと身につけたいと思います。特に英語は、これからますます必要になってくるという話を聞いたので、マスターできるように努力したいです。

そして、ディスカッションで自分の意見を伝えるという経験をしたので、それもこれから活かしていきたいと思います。クラスでの話し合い、生徒会での意見の出し合いなどを、活発にしていきたいです。

今回学んだことは、本当にたくさんあります。しかし、何より学んだことは、周りの人の大切さと、夢は強く願えば叶うということです。

自分を支えてくれている人、大切な人のために、夢を諦めずに勉学に励みたいと思います。



在学学校名	県立恵那農業高等学校	3年	氏名	荒尾 佑樹
-------	------------	----	----	-------

1 リーダー養成塾を受講して

塾での2週間を通して、人は一人では生きていけない、ということを改めて知りました。この2週間仲間なしでは乗り切ることはできませんでした。また、事務局、様々な企業の方々、グローバルアリーナのスタッフさん、そして送り出して帰りを待っていてくれた両親に感謝の思いでいっぱいです。たくさんの人の協力の上で塾に参加することができて、たくさんのことを学ぶことができたと思います。塾では、ハイスクール国会やディスカッションなど、学校では経験することのできないことがたくさんできました。その中でいろいろな人の意見を聞き、本当に人それぞれ考えることは違うということに気づき、物事をいろいろな視点から考えることができるようになりました。ハイスクール国会やディスカッションは時間が限られていて、その中でまとめていかなくてはいけませんでした。国会も途中は本当に終わるのか、この先どうなっていくのかとても不安がありましたが、なんとかまとめることができました。これは決して1人の力では成し得なかったことです。170人みんながいたからこそできたことです。今回出した答えが良かったのかは分かりませんが、そこに至るまでの経験がたくさんのことを教えてくれました。だから僕は仲間に感謝しています。今回できたつながりを大切に、これから頑張っていきたいです。

2 印象に残った講義とその理由

僕が印象に残った講義は2つあります。1つ目は、静岡県知事の川勝平太さんの講義です。川勝さんはすごく明るくて、とても笑顔が素敵な人でした。そして誰よりも富士山を、日本を愛していて誇りに思っていました。「人それぞれに“ふじ”がある」という言葉がすごく印象に残っています。これからは富士山にふさわしい日本人になっていきたいと思いました。2つ目は映画プロデューサーの李鳳宇(り・ぼんう)さんです。李さんの講義の前には、過去の実話で卓球で韓国と北朝鮮が統合チームを作り、スポーツを通して1つになるという、とても感動的な映画を見ました。この映画を見て、1日でも早く韓国と北朝鮮の関係が良くなってほしいと思いました。国籍は違えどみな同じ人間です。お互いを認め合うことができれば、1つになれると思いました。

3 今後のわたし

今回参加して、たくさんの友達と知り合うことができました。そしていろいろな夢を知ることができました。そして、参加する前より夢の幅が広がりました。今までは狭い範囲でしか物事を考えることができなかったけれど、広い視野を持てるようになりました。将来は英語を身に付け、世界へ羽ばたきたいと思いました。自分の夢の実現のために、まずは大学合格を目指します。大学へ行き、たくさん知識を蓄えたいです。そして、夢のために努力をすることを怠らないようにします。また、毎日目標を持って生活をしていきます。その目標に向かって1日1日を大切に過ごしていきたいです。今回の塾を通して、全国また世界にもたくさんの友達ができました。今回できたこのつながりを大事にしていきたいです。自分が悩んだときに、何か力になってくれるかもしれません。逆に力になることができるかもしれません。また、社会に出たときにこのつながりが何か役に立つかもしれません。人とのつながりを大切に、そして感謝し、過ごしていきたいです。



在学学校名	私立麗澤瑞浪高等学校	1年	氏名	安藤 奈穂
-------	------------	----	----	-------

1 リーダー養成塾を受講して

私はこのリーダー塾で、とても貴重な体験をすることができました。

リーダー養成塾に参加する前は、ディスカッションをしたこともあまりなく、自分に自信がなくて、自分の意見を発言することが苦手でした。

しかし、周りの人たちが堂々と自分の意見を発言する姿を見て、私も頑張らなければいけないと思いました。

何度かチャレンジして意見を言うと、だんだん自信がついてきました。ディスカッションをするのがとても楽しく感じるすることができました。

また、第一線で活躍している講師の方々のお話は、私の知らない事ばかりで、とても新鮮でした。

沢山の良い仲間と、充実した2週間を過ごせたおかげで、自分を変えることができたと思います。

「リーダー養成塾での自分」を大切に、これからの生活に活かしていきたいと思います。

2 印象に残った講義とその理由

私は、中村ブレイス株式会社の中村俊郎先生の講義が一番印象に残りました。

中村先生の講義を聞いていたら、先生が話されるやさしい言葉に、自然と涙があふれてきました。

私には障がいを持った姉がいて、周りの人の中に「障がい者＝不幸」という見方をする人がいて、どうしたら「障がい者≠不幸」とわかってもらえるだろうと悩んでいましたが、中村先生が講義の話の中で、「障がい者は決して不幸なんかではないんだよ。」とおっしゃっていて、先生も私と同じ考えをもっていること、素直にみんなに伝えたら良いことを教えていただいて、とても気持ちが楽になりました。

3 今後のわたし

私は、障がい者と健常者の架け橋になりたいです。

私は、リーダー養成塾に参加する前は、抽象的なことしか考えることが出来ませんでした。

しかし、リーダー養成塾に参加してクラスメイトと将来の夢について語ったときに、皆なりたい職業や具体的な人生設計を持っている人がいて、私はこのまま漠然とした夢を持っていても先に進めないと思いました。

だから、今リーダー養成塾から帰ってきてもう一度将来の夢について考えると、中村先生のように日本だけでなく世界中の人々の力となり、障がい者と健常者の架け橋になりたいと思いました。

今私がなりたい職業は、看護師、栄養士、養護学校の先生、心理カウンセラーなど沢山ありますが、今、私は心理カウンセラーになりたいと思っています。

理由は、リーダー養成塾の講師の方々は、「人の話を聞く」ということがリーダーになる為に必要な事だとおっしゃっていて、心理カウンセラーになることでリーダーとして世界中の多くの人々の力になれると思ったからです。

しかし、世界で活躍する為には英会話が出来ないと話になりません。

だから私は、これから学校生活で英語をしっかり勉強していきたいです。

そして多くの人々の心を癒すことで、障がい者と健常者の架け橋になりたいです。



在学学校名	県立多治見北高等学校	2年	氏名	井澤 孝則
-------	------------	----	----	-------

1 リーダー養成塾を受講して

リーダー塾から帰ってきて真っ先に感じたことは至ってシンプルなことですが、全国に新しい仲間ができたという喜びでした。そのような喜びを感じるということは、今までの自分がとても小さな世界でしか過ごしていないということです。

若い段階でこれほど広い世界に触れる機会は、ほとんどないと思います。だから今回受講させて頂けて本当に良かったです。

ハイスクール国会での憲法に対するディスカッションはとても難しいものでした。

新しい憲法を考える時には、文章を短くしなければなければ認めてもらえませんが、それを全員の前で提案すると、逆に「具体的に、分かりやすく」という意見がとても多く、語学力に自信がない私はとても苦労しました。

しかし、それも今後いい経験になるのではないかと今は思います。

2週間の生活は予想以上に体力を使うものでした。現在帰宅部の私には、体調を保つので精一杯で体重も減りました。

しかし、卒塾式の時は、「この2週間本当に早かったなあ。」と、思いました。

けれど、今こうして感想を綴ったり、学校の先生や親にリーダー塾で感じたことを話したりすると、私の人生の中では長い、つまり大きな衝撃を受けた、そんな2週間だったのだと感じます。

2 印象に残った講義とその理由

全ての講義に衝撃を受けましたが、特に、義肢メーカーの中村俊郎さんと、「はやぶさ」のプロジェクトマネージャーの川口淳一郎さんの講義は印象に残りました。

中村さんの人の笑顔を守るための仕事をする喜びを、先生の容姿から感じられました。

講義では、「自分にしかできないことをやるのが大切」ということが印象に残りました。それに加えて、人のためになる仕事をしたいという願いを強く持ちました。

川口さんは、不景気だからこそ前向きにとらえないといけないという考えが印象に残りました。

苦しいときには現状を打開が最優先だと思っていたので、そのような前向きな考え方を持つ人がいるのかと驚くとともに、宇宙開発に挑み続ける川口さんの信念を貫く態度に強い尊敬の念を抱きました。

「苦しいときこそ前向き」という考えは私もしていかなければならないと思いました。

どの講師の方も日本の未来に対して希望を持っていて、日本のことが好きな方でした。

メディアでは今後の日本を不安視してばかりなので、それが少し意外でした。

3 今後のわたし

私が今一番足りないと思っていることは、「人に任せる」ことです。今までの私は仕事やその責任を一人で抱え込むことが多かったと思います。

しかし、リーダー塾という少し広い社会に出ただけでそれが不可能であることを感じました。

これからの高校生活では、人を助けながら、時には人に助けられながら成り立つ、「One for all. All for One.」ができるリーダーでありたいです。

今、一番しなければならないことは勉強です。それは将来の夢、JRに入ってリニアを開発し世界に売り込むことを叶えるために必要なことです。しかし、勉強だけやればいいわけではありません。

いろいろなところでリーダーとして貢献し、さらにリーダーとしての経験を得ることが必要です。受験が近づくにつれてできることは限られてきます。その中でもできることはあるので、見つけたらすぐに実行していきたいです。

高校生活も折り返し。これからは日本一忙しい帰宅部になりたいです。

高校を卒業したら、工学を勉強しながらも、海外で通用する英語力を得ていきたいです。

社会人になった時に日本はどうなっているかは分かりません。しかし、たとえどんな社会であったとしても、残りの学生生活で身につけたことを発揮できるかっこいい大人になります。



在学学校名	県立岐山高等学校	2年	氏名	近江 彩奈
-------	----------	----	----	-------

1 リーダー養成塾を受講して

私が、日本の次世代リーダー養成塾を通して一番学んだことは、一步踏み出せば、自分の予想以上の結果が得られることもあるということです。

塾では、特にディスカッションが楽しかったです。

自分たちでテーマを考え、議論をして物事を色々な方向から見るということは、普段の学校生活ではなかなか経験できないので、とても楽しかったです。

また、ハイスクール国会においては、同じことを聞いても、そのことに対する受け取り方や考え方が人によって異なり、結論を出すのはとても大変なことだけれど、だからこそ面白いと感じました。

そして、何より人脈を広げることができたということがこの塾で一番得たことだと思います。北海道から沖縄まで日本全国のみならず外国に暮らす友人もできました。さらに、自分の夢や悩みを受け止めてくれる友人もできました。

このような人脈は、普段の学校生活の中ではなかなか築くことはできません。

この塾だからこそ得られたものだと思います。

2 印象に残った講義とその理由

私は、元マレーシア首相のマハティールさんの講義が印象に残りました。

元首相と聞いて、最初はとても怖い人を想像していたのですが、話し方がとても穏やかで、世界がアメリカやヨーロッパを手本としている中で、「21世紀はアジアの世紀だ」と自分の意見を堂々と発信し、しっかりとした根拠を持ち、批判的な意見にもしっかりと耳を傾け、自分の考えを伝えるという姿勢に感銘を受けました。

また、マハティールさんは日本がとても好きな方でした。

私は、日本はどんどん悪い方向に向かっていっていると思っていましたが、マハティールさんのおかげで、日本は良いところもたくさんあってまだまだ捨てたものじゃないと思え、日本のことがもっと好きになりました。

3 今後のわたし

私は、塾の前半で、自分自身が岐阜のことを知っているようであまり知らないということを実感し、岐阜のことが好きになりました。

だから、たくさんの人にもっと岐阜のことを知ってもらいたいですし、岐阜のことを尋ねられたら、堂々と語ることができるようにになりたいと思います。

また、塾では年齢は関係なく、「人対人」として話をしていました。だからこそ、相手の話を理解するまで聞くことができたし、自分の話もきちんと聞いてもらえたんだと思います。

私は今、生徒会などリーダー的な役割を担っているわけではありませんが、この塾を通して、リーダーというものは、特別な役職についていなくてもリーダーであるということを学んだので、クラスで話し合いをするときや、普段の会話の中などでも、恐れずに自分の意見を言い、お互いに理解しあえるまで話を聞くことができるようにしたいです。

また、塾の中で、自身が参加している団体について説明したときに、想像以上の結果が返ってきました。それはディスカッションの時でも同じでした。

私は、「どんなに小さな一歩でも必ず何か返ってきて、それが想像以上のものであるときもある。」ということ学びました。

普段の生活でも、何か一歩進んでみたいですし、もし、誰かが一歩踏み出そうとしているならば、応援したいと思います。



在学学校名	私立鷺谷高等学校	2年	氏名	小椋 美月
-------	----------	----	----	-------

1 リーダー養成塾を受講して

リーダー塾に参加して、私の見てきた世界は本当に狭かったのだと痛感しました。参加している高校生の中にはユニークな経歴を持った高校生がたくさんいました。学生団体に参加・主催している高校生や、単身高校留学している高校生。みんな同じ高校生とは思えないほどいろいろなことにアクティブに挑戦し続けていました。そんな仲間たちを目の当たりにして、今現在の状況で満足しかけていた自分自身に苛立ちを覚えましたが、それと同時に、私にもまだまだできる事がたくさんあるのだと思い、いろいろなことについての興味がわいてきたことが大きな変化だと思います。

また、日頃は友達となかなか政治や将来の夢について語ったりすることはありませんが、リーダー塾ではそれらについて毎日熱く語り合う事ができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

同じ高校生なのに全く違う政治観、全く違う将来の夢をもっていることがとても面白かったです。語り合う中で自分の新しい将来の目標や、価値観を見出すことが出来たのは、やはりリーダー塾ならではの体験だったと思います。

2 印象に残った講義とその理由

私が一番印象に残った講義は、毎日新聞からいらっしゃった山田孝男先生の講義です。私自身、新聞記者も将来の夢の一つとして考えていたため、先生が毎日新聞の記者ということをお聞きしたときから、とても楽しみにしていました。

山田先生の講義では新聞記者という立場から、斬新な意見や面白い話をたくさん聞くことができ、新聞記者という職により強く惹かれるようになりました。

加藤先生の講義も印象的でした。私には将来の目標が2つあり、リーダー塾に参加する前は、必ずどちらかの職を就職するときに選ばなければいけないのだと思い込んでいました。

しかし、加藤先生の人生の経歴や体験談を聞いて、職業は必ず1つに絞らなくても、いつからでも切り変える事が出来るのだということに気付き、視野を大きく広げることができました。

中村先生の講義では、講義の内容だけではなく、中村先生自身の人柄が本当に温かく、中村先生のような温かい人になりたいと強く思ったことも、印象に残っています。

3 今後のわたし

私は元々人見知りをしてしまうところがあり、ずっと直したいと思っていました。今回リーダー塾に参加し、沢山のひとと話したことで、その人見知りはかなり改善されたように思います。だから、これからの日常生活で、今まであまり話せなかったような人とも積極的に会話していこうと思います。

また、学生団体に参加することなどを始めとして、私たち高校生にはまだまだできる事がたくさんあるのだという事も、リーダー塾で学ぶことが出来たことの一つです。これからその感動を忘れないように、様々なことに挑戦して行こうと思います。

リーダー塾に参加して、一番大きく自分が成長したところは、「自分の考えを言葉ですぐに伝えられるようになったこと」です。私は今まで自分の考えをもち、それを文章にしたりすることは得意としていましたが、ディスカッションやディベートなどで言葉としてすぐに出すことは苦手でした。

しかし、リーダー塾において、ディスカッションを繰り返す中で、自然と「自分の考えを言葉にしてすぐに伝える力」が身に付きました。この力はこの先いろいろな場面で役立っていくと思います。

まずは学校で開催されるディベート大会で、この力を発揮して行きたいと思っています。また、ディスカッションを行う際には、会議の進め方なども学習することが出来ました。

この学んだことも、今後、学校でのディベート大会に活かしていけたらいいと思います。

リーダー塾での体験は、一つ一つがかけがえのない大切な体験となりました。ここには書き切れなかったことも、全部無駄にせずこれからに生かしていきたいと思っています。



在学学校名	私立聖マリア女学院高等学校	1年	氏名	川筋 百花
-------	---------------	----	----	-------

1 リーダー養成塾を受講して

私には、リーダー養成塾に行って良かったと思うことが大きく2つあります。

まず1つ目は、友達がたくさんできたということです。今回の参加者は、様々な国や県から集まってきており、塾に参加していなければ出会えなかったと思います。

また、ディスカッションの際には自分の考えをはっきりと述べ、皆で物事を真面目に考える時間や、プライベートについて話す時間もあって、一生の友達ができました。

2つ目は、視野が広がったということです。塾生は、様々な国や県から集まっており、生まれ育った環境も全く異なり、考え方も誰一人として同じ人はいませんでした。

そんな仲間たちと議論を深めていくうちに、価値観は多種多様で、答えは1つだけではないということに気づきました。

日常生活では体験できない、とても新鮮な経験でした。

2 印象に残った講義とその理由

一番印象に残った講義は、安田喜憲先生の講義です。

安田先生は、講義中に何度も「天才でなければ、この世を良く動かさない」といった内容のお話をされていました。これを聞いて、ずば抜けて得意なものはない私は、自信をなくしました。

しかし、質問タイムの際に、他の塾生が「どうやったら天才になることができるのか」と尋ねたところ、安田先生からは、「努力すれば誰でも天才になれる」という答えが返ってきました。

その瞬間、私の心の中で何かが動きました。これがおそらく本物の感動というものだと思います。何か行動を起こしたいという衝動にかられました。

安田先生の言葉で、私は今も頑張ろうと思っています。このような気持ちを体験できることは、一生に一度あるかないかのことだと思います。本当に今回の講義を聴くことができてよかったと思いました。

3 今後のわたし

私は、今回この塾に参加して、本物の友達ができ、視野も広がり、本当によかったと思っています。

塾を紹介してくれた先輩や、応援してくれた家族、合格させて下さった方々にとても感謝しています。

また、この感謝することを改めて気づかせてくれた塾にも感謝しています。

そのため、この感謝の心を込めて、岐阜県のみならず、日本を代表するようなリーダーになりたいと思いました。

今回塾に参加して、様々なタイプのリーダーがいるということや、リーダーに求められる資質は、人によって異なるということが分かりました。

私は、人の話をしっかり聞くことができ、他人からのアドバイスを真摯に受け止めることのできる人がリーダーにふさわしいのではないかと思います。また、講義を受けていく中で、挑戦する心が大切だと感じました。だから私は、一人一人の意見を大切に、どんなことにも挑戦し、あきらめないリーダーになろうと思っています。

そして、自分ができることで社会貢献をしたいと思っています。きっと10期生全員が自分の考えるリーダー像に向かって頑張っていくと思います。

それを想像しながら、私も頑張ろうと思っています。



在学学校名	私立聖マリア女学院高等学校	2年	氏名	小坂 百代
-------	---------------	----	----	-------

1 リーダー養成塾を受講して

自分の見方やあり方が大きく変わった二週間であった。

どの仲間にも自分にない素晴らしさがあり、また、今まで気づかなかった自分の長所や志を発見することもできた。

塾では、常に時間が足りないと感じる日々であった。「もっと質問したい」「もっとディスカッションしたい」「もっと友達と長く語り合いたい」「もっと一緒にいたい」「もっと考えたい」など一日一日が濃密で本当に楽しかった。

私は、洗濯委員の副委員長、3組の内閣プラスワン、人間省の長を務めたが、どれにおいても満足する活躍ができたと思った。

時々、力不足だと感じることもあったが、周りの友達などが励ましてくれたおかげで何とかやりきることができた。

この2週間での議論を通して、建設的・理論的に考える力が身に付いた。また、以前よりも政治・経済に関心を持ち、深く自分の考えを持つようになった。

特に、今回のテーマである「憲法」については、多種多様な見方を知ることができ、日本の未来のための憲法を自分で考えることができたが、もっと皆と議論を深め、結論を出したかった。

実は、塾に参加する前は、仲間に対してひどく劣等感を感じていたのだが、塾の中では感じることはなかった。

ありのままの自分で見栄を張らずやっぴいこうと決めてから、他人からどう思われるかを気にせず、積極的に活動をすることができた。

仲間から長所を指摘されることは、参加前には想像もできなかったことで、私にとって大きな励み、強みとなり自信がついた。

塾の中で、かけがえのない仲間や大きな志を持つことができたことは、私の大きな財産となった。

2 印象に残った講義とその理由

まず一人目は、(株)中村ブレイス代表取締役社長中村俊郎先生。

小さな村でたった一人で会社を起し、その村の英雄となった方だ。優しい笑顔とひたむきな向上心を併せ持ち、講義を聞く人皆を感動させた。

講義中に観賞したVTRで、社員と同等にぶつかり合って意見を交わし、たとえ社長であっても驕らずに熱意と真心を持って仕事をする先生の姿に尊敬の念を抱いた。講義後、「君、いい笑顔だね。」と先生から言葉をかけていただいたのは、何よりもうれしかった。

二人目は、千住博先生。

芸術が、ある独立した高尚な分野のものなのではなく、森羅万象に共通する、私達とは切っても切れない関係にあるものだということを学んだ。

芸術とは和、つまり異質のものを受け入れる、調和をすることであるために即ち日本は「和を以て貴しと為す」精神を持つ芸術立国だと知った。

千住先生の芸術の観念から、人間関係、そしてリーダーのあり方についても多くを発見することができた。

3 今後のわたし

塾では、他人にはない自分の良いところや、不足しているものを見つけ出すことができたので、高校を卒業するまでの一年半を、長所を伸ばし、短所を克服することに費やそうと思う。

この機会にやれることは限られるかもしれないが、自らチャンスを作って、小さな成功を積み上げたい。

塾の講義で、川口淳一郎先生がお話されていた、「やらない理由ではなく、やれる理由を作って挑戦しない限り成果は得られない。」という言葉に胸に置き、諦めないでチャレンジしていきたい。

塾を通して発見した私の一番大きな課題は、アウトプットの上達である。

大勢の前で話をするときに緊張したり、言葉をうまくまとめることができないのが今の悩みなので、多くの人を見習って、自ら練習の機会を作り、人にうまいと思わせるような伝え方を身に付けたいと強く思っている。

私の将来の夢は、世界の舞台で活躍するプレゼンターになることだ。自分の言葉とアイデアを以て、多くの人々の心を動かせるような人物になる。

そのために、自信を持って、夢に向かうことをあきらめずに、すべきことに取り組みたい。

塾への参加後、初めて大学の志望校を決めることができた。その大学へ行くためにも、様々な考え方や学習、知識を身に付けて、合格の夢やその先の夢を見据えて、これから頑張りたいと思う。



在学学校名	県立多治見工業高等学校	2年	氏名	坂本 文香
-------	-------------	----	----	-------

1 リーダー養成塾を受講して

「言葉にできない」「言葉に表すことができない」

この気持ちが、私が塾を終えて思ったことです。

今まで、思い出を口にしたり、書き出したりしてきましたが、塾での体験は言葉に表すことができないほど素晴らしく、最高でした。

実は、私はこの塾に参加するまで、自信をなくしかけていました。事前オリエンテーションで、塾の紹介VTRを観賞したとき、私には無理かもしれないと思ったからです。

不安しかありませんでしたが、塾の初日に次々と他県の仲間ができて、不安は楽しみに変わりました。

参加して本当に良かったです。今、迷っている人がいるならば、「大丈夫。みんなあなたを待っているよ。待たせていいの?」と進んで声をかけてあげたいです。

2 印象に残った講義とその理由

まず一つ目は、千住博先生の講義です。

先生の講義は、哲学的なところがあり、私はとても好きでした。芸術とはこんなにも奥が深いものなのかと思えましたし、始めから最後まで関心が尽きることはありませんでした。

また、学べる点が多く、メモ用紙が足りなくなり、いっぱいになりました。

とても共感できる講義でした。

二つ目は、中村俊郎先生の講義です。

中村先生は、話す姿勢、表情、雰囲気など素晴らしい方だと思いました。世のため、人のために仕事をしていられる方で、先生の講義は涙なしでは聞けない、とても感動的な講義でした。

3 今後のわたし

塾が終わった今、これからこの体験をどう活かしていくか?ということについて考えています。

塾での体験がとてもすごすぎて、いったいこの経験を周りにどのように広めていけばいいのかを模索しています。

今考えていることは、もっと前に出てみようということです。

私が今通っている学校は工業高校で、男子生徒が大半を占めている環境であり、私はこれまで生徒会などの活動をしていませんでした。

ですが、塾で出会った仲間のように、自分も積極的に物事に組み組みようと思っています。

学校には志が違う生徒もいて、自分の考えを理解してもらえなかったり、聞いてもらえないこともあると思います。

しかし、私は頑張っって自分という殻から抜け出したいと考えています。

また、海外へ留学経験がある仲間の話を聞いて、私も留学したいと思いました。

当初は、高校を卒業したら、東京の専門学校へ行く予定でしたが、今は海外の大学か、専門学校に行っって、動物に関する勉強をしたいという新しい目標が生まれました。

英語の知識はゼロに等しいですが、夢をかなえるためにこれから努力していきたいと思っています。

そして、夢を叶えるために努力することの大切さを、この塾で学びました。



在学学校名	県立岐阜農林高等学校	3年	氏名	原口 知弥
-------	------------	----	----	-------

1 リーダー養成塾を受講して

今回、日本の次世代リーダー養成塾に参加させていただき、多くの講師の方や塾生の仲間たちとの出会いを通して、非常に多くのことを学ぶことができました。

さらに、いろいろな人たちが、今まで行ってきたことや持っている信念を聞くことは、とても良い刺激になり、おかげで私も将来やりたいことが見つかりました。

目標ができたことによって、学業にもやる気が出て、専念できるようになりました。

塾では、夢を持ち、その夢に向かって努力する必要性についてよく理解しました。

今後、困難に直面することがあっても、塾で学んだことを思い出し、納得がいく人生を送ることができるようにしたいです。

2 印象に残った講義とその理由

中村俊郎先生のご講義が一番印象に残りました。

中村先生は非常に謙虚であり、海外で、貧しい生活を送っている人々のためになるような仕事をされていて、多くの人々に笑顔と希望を与え続けています。

私は先生の人柄と偉大さに心を打たれました。

私は、先生のように、発展途上国の方々が幸せな生活を送ることに貢献したいと思いました。

塾に参加して、先生にお会いできたことは、一生の宝物になりました。

3 今後のわたし

リーダー塾の講師の方々の多くは、これからの時代、日本人は海外に目を向けるべきだとおっしゃいました。

私も、インドや東南アジアの発展途上国へ行ったことがあります。やはり何らかの支援が必要であると感じていました。

特に、農業の分野においては、効率の悪い栽培方法や良好ではない環境の中で家畜の飼育を行っている光景をよく見かけます。

だから私は将来、海外の人々に農業指導をして、少しでも安定した暮らしができるよう支援をしたいと思います。

そのためにも、高校卒業後に大学へ進学し、農業の技術を身に付け、さらに、悪質な土壌でも効率良く作物が栽培できる研究をして、技術の伝承を図りたいと思います。

そして、若いうちにできる限り世界中の国へ足を運び、現地の様子を自分の目で確認し、現地の人々が本当に必要としているものを見つけたいです。

このような目標を持つことができたのも、塾に参加できたおかげです。

ありがとうございました。

